

松丸一雄委員長の開会挨拶

団結を大切にしたたかう

参加の皆さんには1年、組織増勢と組織強化をめざし、組合員と働く仲間の仕事と暮らしを守る、命と健康を守る諸要求実現に向けてご協力とご奮闘をいただきました。あらためて感謝を述べたいと思います。

この1年、中央執行委員会では会議内容と構成を変えて



松丸一雄中央執行委員長

実践に学び経験を交流して討論と協議を重視し、後継者育成を進め、何より団結を大切にたかう労働組合として諸要求実現に向けて運動を進めました。

昨年の取り組みでは、丸の内の現場で働く仲間からの苛酷な現場の実態の訴えに改善を要求し、賃金を引き上げる

月間の達成と年間実増必ず

また建設現場での火災も多くありました。仲間の犠牲となりませんでした。遺族の無念は計り知れないと思います。朝、「いってらっしゃい」と言って送りだしたら、「たいたい」と元

〈中央執行委員長〉
松丸一雄（江東）
〈中央副執行委員長〉
佐藤 豊（目黒）
渡辺義久（三鷹武蔵野）
中村隆幸（杉並）
丸山篤義（多摩・稲城）
松本久人（江戸川）
島原 孝（足立）

新中央執行委員会

〈書記長〉
小番 徹（北）
〈書記次長〉
中原 収（小平東村山）
渡邊輝明（北）
熊切健二（杉並）
北川誠太郎（世田谷）
近藤初雄（西多摩）
〈常任中央執行委員〉

齋藤 誠（台東）
横澤 勉（大田）
石川信一（北）
石村英明（府中国立）
福地孝志（板橋）
芳井 武（葛飾）
檜山剛志（多摩西部）
佐藤里志（渋谷）
上原 誠（練馬）
小坂 剛（西東京）
後藤英雄（葛飾）
五本木宏晃（西多摩）
〈専従常任中央執行委員〉
中村哲郎（西東京）
唐澤一喜（練馬）
田村彰宏（世田谷）
栗橋 宏（墨田）
三木 勉（多摩西部）
黒木 強（多摩・稲城）
中村修一（足立）
渡邊 睦（三鷹武蔵野）
〈中央執行委員〉
武藤 彰（足立）
五箇谷日出雄（荒川）
阿久津正（葛飾）
奥村歳久（文京）
寺山邦裕（台東）
小島 明（墨田）

大木栄一（江東）
堀川昭義（江戸川）
野崎邦治（板橋）
土橋弘典（豊島）
渡辺勝二（北）
福岡忠行（練馬）
石井 正（港）
小林紀久夫（品川）
葛西政之（大田）
佐藤 忍（目黒）
伊藤勝伸（渋谷）
佐久間法博（世田谷）
伊藤賢司（新宿）
阿部秀晴（中野）
松原秀夫（杉並）
金子昭二（三鷹武蔵野）
宗像 勇（狛江）
川口敏彦（調布）
清水政廣（多摩西部）
宮崎 透（西多摩）
鯉淵勝也（小金井国分寺）
宮澤和也（府中国立）
矢吹一幸（八王子）
古怒田忠（日野）
三橋 誠（多摩・稲城）
尾花慎司（町田）
新井信道（小平東村山）
前川達夫（清瀬久留米）

唐鎌昭二（西東京）
相山昇司（村山大和）
栄 大翔（調布）
＊書記、ブロックより1人
松村健司（東部B）
大勝友二（江東B）
佐藤広平（城北B）
新関 仁（南部B）
双木淳志（西部B）
牧岡善隆（多摩東B）
松井民人（多摩西B）
伊藤 仁（多摩南B）
関真太郎（多摩北B）
〈常任中央執行委員待遇〉
木村潮人（江戸川）
松広高幸（練馬）
大野 史（西多摩）
山本繁樹（江東）
沼口 剛（渋谷）
塩野 操（大田）
〈中央執行委員待遇〉
刈込美津代（三鷹武蔵野）
加藤行夫（渋谷）
〈会計監査〉
山口君彦（中野）
真木泰久（足立）
鈴木敏幸（町田）
＊任務分担は次号掲載予定

東京土建 大会宣言 第72回大会

結成以来仲間が歩んだ歴史と教訓を活かし、人が育ち人が活きる明るい建設産業を実現するため、組織の拡大強化に全力を挙げて、過酷な建設労働の現状を打開し、賃金と仕事、暮らしの要求運動を前進させよう！

東京土建は結成70年を超える歴史と運動の教訓を活かし、仲間の要求実現と仕事と暮らしを支える運動を一貫してすすめてきました。そして2015年から「総合5カ年計画」にて、東京五輪以降の建設産業構造と建設需要の変化に対応し、地域と産業に影響のある組織の拡大強化をめざしてきました。

昨年は日本列島が地震・豪雨など大災害に見舞われ、復旧活動・防災減災活動において、あらためて地域における建設業の役割が明らかになりました。私たちを取り巻く情勢は、政治の私物化・劣化が進み、自由と民主主義、国民主権に重大な問題が広がり、隠ぺいとねつ造・偽造を繰り返し国民世論との乖離が広がっています。毎月勤労統計のデータ偽装による賃金動向の実態との乖離も、モリカケ問題や裁量労働制の問題とあわせ、政権の改ざん・隠ぺい体質が明白になっています。この状況下で私たちは改憲を阻止し、沖縄辺野古のたたかいなど平和と民主主義を守るために、圧倒的な世論と運動を強めることが必要であり、4月の統一地方選挙と7月の参議院選挙が大きな山場となります。

産業対策の課題では、丸の内現場に代表される建設従事者の過酷な労働実態に対し、労働者の救済とともに現場での組合の影響力和労働者の組織化をすすめる運動強化。現場対策活動と公契約条例制定・改善運動を組織的にすすめ、交渉機構・労働協約づくりを通じた処遇改善を目指しています。職域対策では、住宅デーや減災防災などの地域活動をすすめ、リカコ事業や受注環境の整備では共同受注・集団施工体制確立の具体化を検討・推進しています。さらにアスベスト訴訟が高裁で連弾勝利し、全面解決へ向けて、最高裁判決の完全勝利と世論を背景に「補償基金」創設運動に全力を挙げています。

仲間と家族の生活支援の取り組みにおいて、建設国保育成強化では、ハガキ要請など仲間の大衆行動の前進により現行水準を確保しました。共済制度では、火災・地震共済、自転車保険の周知と推進を、組織を機能させ前進させました。さらに毎月定例の宣伝と署名行動や学習活動をすすめ、地域共闘団体とともに消費税引き上げと大衆増税阻止、社会保障制度拡充の運動を全都で広げました。

結成以来東京土建は、建設従事者の仕事と暮らしを守り、社会的地位向上のためにたたかってきました。「総合5カ年計画」最終年の実践をすすめ、仲間の要求実現とその運動をすすめる組織建設を大きく前進させます。産業の民主的な転換めざす課題では、経験・技能と賃金を連動させる改革へのスタートとなる建設キャリアアップシステムを本格稼働させます。人が育つ明るい建設産業の実現に向けた、担い手確保の前提条件は「建設労働者の処遇改善」であり、その実態は他産業との格差、長時間労働の常態化は改善されていないという状況です。設計労務単価が上がり、法定福利費が支払われていても建設労働者は低賃金のままです。外国人労働者との共生と運動の組織化の課題でも、建設従事者の処遇と賃金引上げを大前提に運動を展開し、建設産業から「貧困労働」をなくしなければなりません。そして、これらの運動を推し進める強大・強固な組織を築くために、「3つの組織活動」を発展させ、支部と分会・群の活性化と機能を強化し、共に活動する仲間を増やし、事業所と後継者世代の結集対策を前進させていきます。仲間が主体となる組織拡大・強化運動を全ての支部で徹底し、春・秋の拡大月間目標をやりきり年間1%以上を持続的に増勢できる運動力を高めていきましょう。

私たち、東京土建は現場と業界、地域において、その組織力と影響力を高め、人を活かし人が育つ民主的な明るい建設産業の実現、私たちの暮らしと憲法を守るたたかいに全力を挙げ、団結して奮闘することをここに宣言します。

2019年3月18日
東京土建一般労働組合 第72回定期大会